

朝倉市地域公共交通網形成計画 改訂案資料（抜粋版）

平成27年3月（令和 2年3月一部改訂）

朝 倉 市

1. 情勢の変化

(1) 人口推移

立石以外の地区では人口減少が進んでいます。また、人口構造においては、65歳以上の人口が占める割合が増加しています。

<住民基本台帳による人口推移> (単位：人)

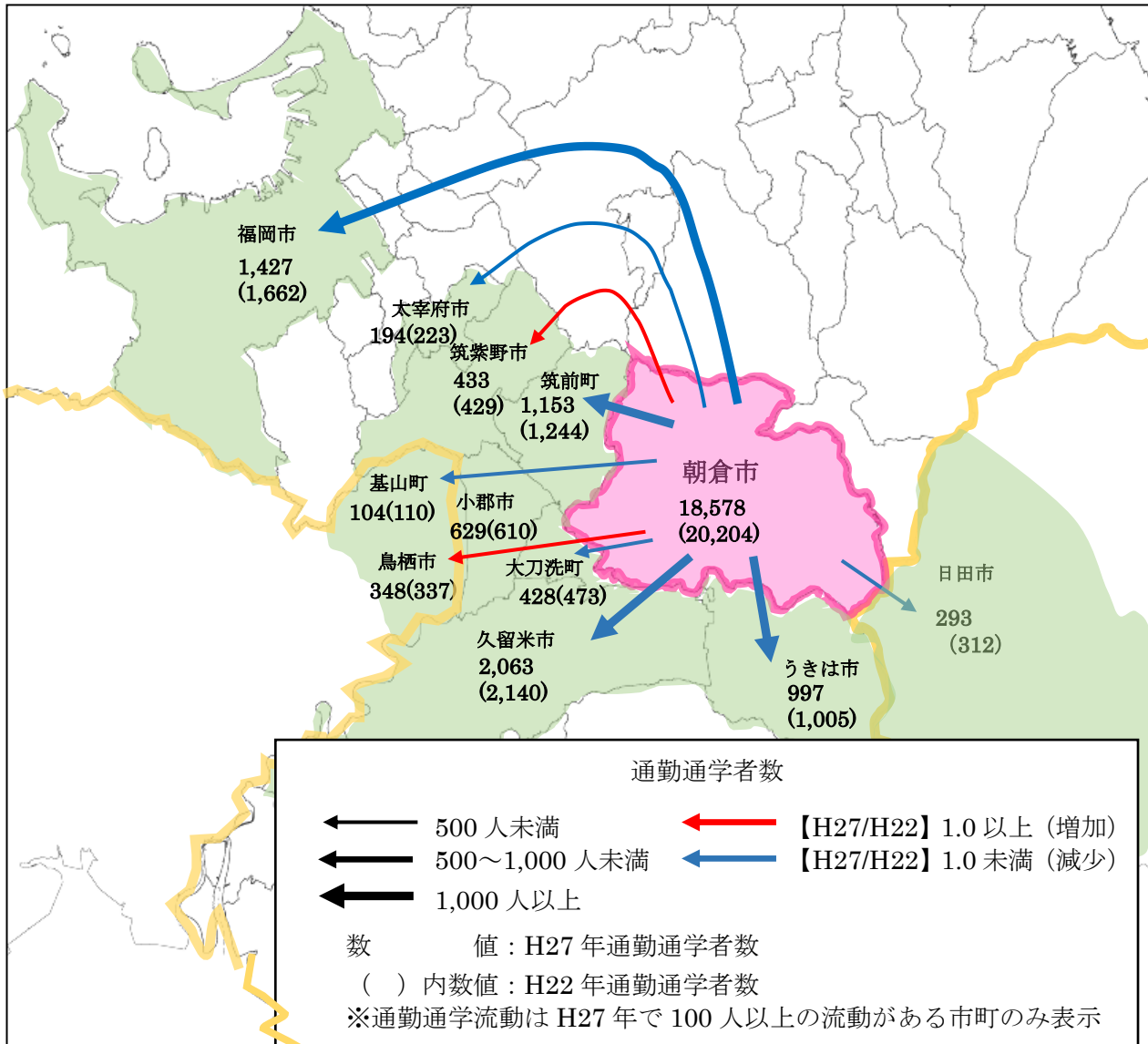
路線名	沿線コミュニティ	区分	H29年 5月末	H30年 5月末	令和元年 5月末	増減	
コミュニティバス	1 上秋月・安川線	上秋月	人口	912	887	859	△ 53
			(うち65歳以上)	384	380	380	△ 4
		安川	人口	1794	1738	1660	△ 134
			(うち65歳以上)	725	724	713	△ 12
	2 馬田線	馬田	人口	4280	4272	4249	△ 31
			(うち65歳以上)	1265	1279	1293	28
	3 福城線	福田	人口	2649	2623	2614	△ 35
			(うち65歳以上)	909	933	945	36
		蜷城	人口	1791	1725	1707	△ 84
			(うち65歳以上)	675	676	678	3
	4 矢野竹線	三奈木	人口	3239	3198	3113	△ 126
			(うち65歳以上)	1227	1251	1268	41
	5 美奈宜の杜線	美奈宜の杜	人口	669	663	666	△ 3
			(うち65歳以上)	385	386	393	8
	6 長淵線	金川	人口	2939	2899	2868	△ 71
			(うち65歳以上)	975	986	1007	32
		大福	人口	3967	3899	3862	△ 105
			(うち65歳以上)	1487	1501	1532	45
	7 朝倉地域 コミュニティバス	朝倉	人口	1680	1650	1633	△ 47
			(うち65歳以上)	669	665	670	1
宮野		人口	2426	2351	2312	△ 114	
		(うち65歳以上)	866	865	865	△ 1	
8 あいのりスクールバス	高木	黒川線に記載					
		黒川線に記載					
9 黒川線	久喜宮	人口	1842	1747	1710	△ 132	
		(うち65歳以上)	609	607	613	4	
	志波	人口	1361	1314	1284	△ 77	
		(うち65歳以上)	560	567	572	12	
	高木	人口	373	322	289	△ 84	
		(うち65歳以上)	225	195	179	△ 46	
10 杷木東部線	杷木	人口	2969	2904	2810	△ 159	
		(うち65歳以上)	1001	1003	996	△ 5	
	松末	人口	682	610	554	△ 128	
		(うち65歳以上)	283	251	235	△ 48	
路線バス	11 秋月線	秋月	人口	775	756	745	△ 30
			(うち65歳以上)	357	343	328	△ 29
	12 甘木幹線 市街地循環線 田主丸線	甘木	人口	9714	9716	9627	△ 87
			(うち65歳以上)	2740	2808	2817	77
		立石	人口	10373	10471	10564	191
			(うち65歳以上)	2294	2350	2452	158
朝倉市		人口	54435	53745	53126	△ 1309	
		(うち65歳以上)	17636	17770	17936	300	

(2) 通勤通学流動

朝倉市の通勤通学流動は、平成22年・27年とも久留米市への流動が最も多く、次いで、福岡市・筑前町・うきは市が多い状況です。

平成22年に対する平成27年の通勤通学流動は、鳥栖市・筑紫野市・小郡市が伸び、他の市町は減少しています。

<平成27年度国勢調査による通勤通学流動>



【資料】国勢調査

(3) 鉄道事業における便数の変化

便数については概ね横ばいです。

<鉄道運行便数（令和元年12月現在）>

鉄道名	駅名	運行本数（平日）
西鉄甘木線	甘木	往復 38本/日 (平成30年3月までは39本/日)
	馬田	
	上浦	
甘木鉄道	甘木	往復 42本/日

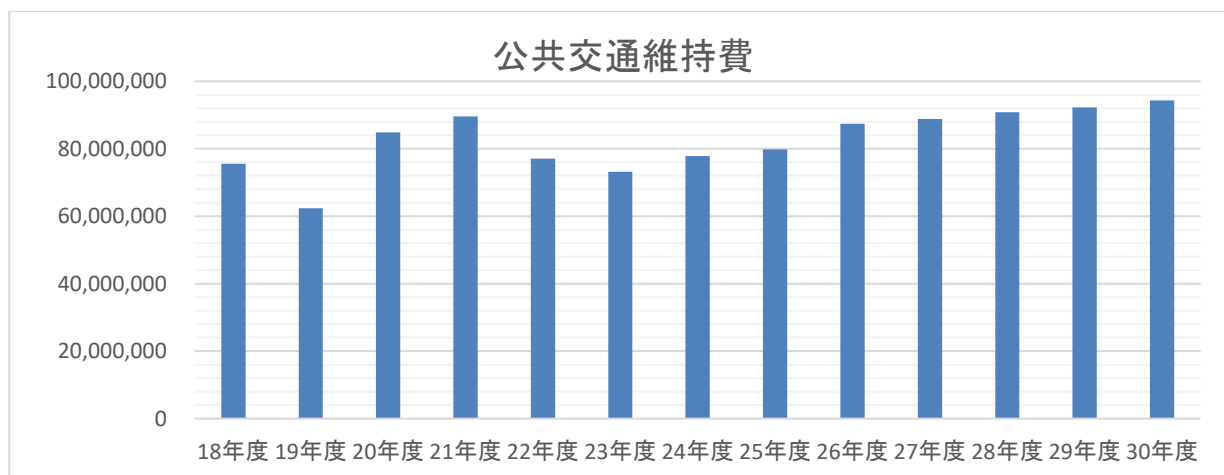
(4) 公共交通維持費の推移

合併以降、公共交通に係る維持費は、連携計画導入前の平成21年度には89,573千円に達していましたが、既存の事業を抜本的に見直し、合理的かつ効率的な施策を進めることで、交通維持費の抑制を図ってきましたが、平成28年度には導入前の経費を超えることになり、年々増加傾向にあります。利用者減による運賃収入の減少もありますが、人件費や燃料費等の高騰による経費の増加も主な要因であると考えられます。

＜公共交通維持に関する経費＞（単位：円）

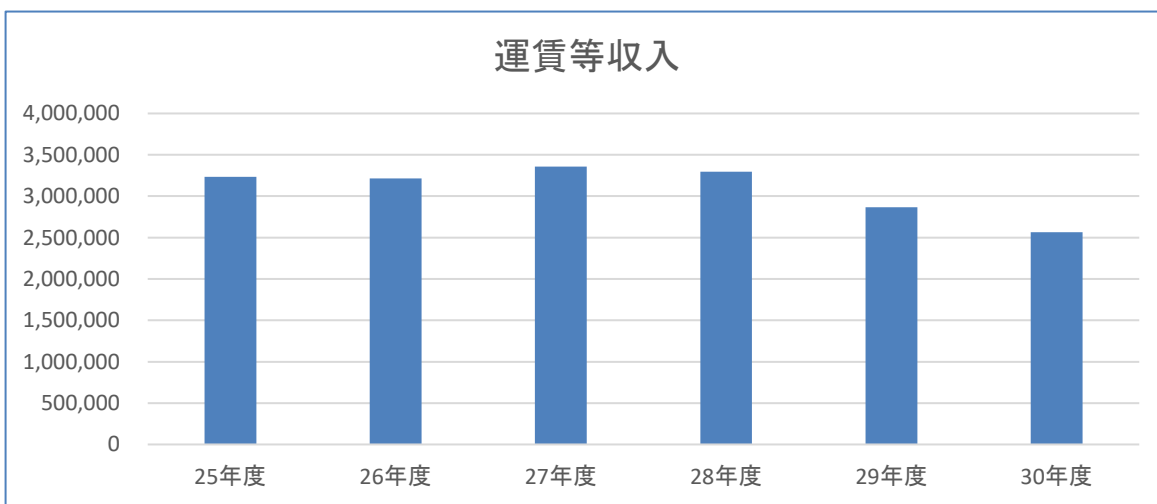
路線名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
1 上秋月・安川線	—	—	—	—	—	—	2,582,915	
2 福城線	—	—	—	—	—	—	1,455,293	
3 馬田線	—	—	—	—	—	—	998,204	
4 長淵線	—	—	—	—	—	—	4,967,656	
5 矢野竹線	—	—	—	—	—	—	—	
6 美奈宜の杜線	—	—	—	—	—	—	—	
7 黒川線	—	—	—	—	2,806,235	2,904,560	2,562,095	
8 杷木東部線	—	—	—	—	—	—	1,795,148	
9 朝倉地域コミュニティバス	7,973,133	7,887,344	8,210,197	7,679,235	8,294,621	9,077,130	9,119,400	
10 あいのりスクールバス	15,969,000	16,237,000	16,087,059	16,125,958	16,323,717	20,123,703	13,778,477	
小計	23,942,133	24,124,344	24,297,256	23,805,193	27,424,573	32,105,393	37,259,188	
市街地巡回バス	3,698,395	3,929,953	3,800,000	8,232,525	路線バス活用策へ転換			
路線バス運行補助金	西鉄バス	14,164,000	14,512,000	14,800,000	14,872,000	10,416,000	5,380,000	5,475,000
	甘木観光バス	33,719,719	19,746,222	41,979,240	42,663,514	39,196,648	35,653,618	35,051,031
	小計	47,883,719	34,258,222	56,779,240	57,535,514	49,612,648	41,033,618	40,526,031
合計	75,524,247	62,312,519	84,876,496	89,573,232	77,037,221	73,139,011	77,785,219	

路線名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
1 上秋月・安川線	3,255,872	3,841,562	5,338,256	4,835,079	5,052,326	5,890,103	
2 福城線	1,436,655	1,045,756	402,954	495,401	438,388	712,765	
3 馬田線	1,004,018	1,458,940	1,554,806	1,620,127	1,666,908	918,244	
4 長淵線	4,999,759	5,449,375	4,801,269	4,721,855	4,754,687	5,796,068	
5 矢野竹線	4,762,128	5,212,594	5,541,205	5,450,509	5,509,605	5,574,811	
6 美奈宜の杜線	5,728,465	5,993,707	5,282,712	5,331,180	5,141,076	7,270,655	
7 杷木東部線	1,858,923	2,042,117	2,182,678	2,138,083	1,847,830	601,170	
8 黒川線	4,023,471	4,026,684	3,957,542	5,983,954	4,417,337	3,980,114	
9 朝倉地域コミュニティバス	8,451,250	12,199,294	12,187,408	12,196,716	13,067,745	13,114,154	
10 あいのりスクールバス	11,159,351	11,630,030	11,390,199	11,183,696	14,164,282	11,084,045	
小計	46,679,892	52,900,059	52,639,029	53,956,600	56,060,184	54,942,129	
市街地巡回バス	路線バス活用策へ転換						
路線バス運行補助金	西鉄バス	5,884,000	5,823,000	5,666,000	5,710,000	4,381,000	5,590,000
	甘木観光バス	27,256,161	28,698,679	30,526,287	31,143,634	31,853,043	33,789,378
	小計	33,140,161	34,521,679	36,192,287	36,853,634	36,234,043	39,379,378
合計	79,820,053	87,421,738	88,831,316	90,810,234	92,294,227	94,321,507	



<コミュニティバス（あいのりタクシー含む）運賃等収入>（単位：円）

路線名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
1 上秋月・安川線	133,400	128,500	234,650	188,650	194,550	199,400
2 福城線	13,100	36,200	65,100	112,100	70,900	95,200
3 馬田線	85,100	79,300	115,100	84,800	118,700	101,600
4 長湊線	443,600	428,700	463,500	425,600	373,900	289,100
5 矢野竹線	292,000	393,850	354,450	301,700	347,500	303,100
6 美奈宜の杜線	802,160	785,900	805,940	912,920	884,650	841,900
7 杷木東部線	118,500	553,700	524,900	528,300	486,500	554,300
8 黒川線	673,050	557,150	565,700	560,600	210,150	88,900
9 朝倉地域コミュニティバス	569,000	141,900	160,600	130,600	153,500	74,300
10 あいのりスクールバス	105,550	109,150	69,050	51,650	27,950	17,500
合計	3,235,460	3,214,350	3,358,990	3,296,920	2,868,300	2,565,300



2. 数値目標に対する進捗状況

(1) 持続可能な公共交通体系の確立

① 幹線バス路線の確保・維持

平成28年度から便数が減少しています。

< 幹線バスの1日の運行便数 >

指 標	状 況					
	平成26年度		平成28年度		令和元年度	
1日あたりの運行便数（往復）	杷木 甘木		杷木 甘木		杷木 甘木	
	平日	34.5便 74.0便	平日	34.5便 74.0便	平日	27.5便 79.0便
	土曜日	27.0便 60.5便	土曜日	27.0便 60.5便	土曜日	23.0便 61.0便
	日祝日	23.0便 56.5便	日祝日	23.0便 56.5便	日祝日	19.0便 49.0便

② 地域バス路線の確保・維持

平成30年度の年間総利用者数は、平成28年度と比較し21%（33,342人）増となっており、平成26年度と同水準まで回復しています。

路線別では、小石原線・宝珠山線が減少傾向にあり、平成29年7月の豪雨災害による運休や沿線地区人口の減少が大きく影響しているものと予測されます。

1台あたりの利用者数は、平成28年度以上の水準を維持しています。

< 路線バスの年間利用者延べ人数 >（単位：人）

指 標	状 況			目標値	達成率 ①/②
	平成26年度	平成28年度	平成30年度 ①	令和元年度 ②	
年間利用者数（5路線合計）	183,855	158,282	191,624	158,300	121.1%
年間利用者数 田主丸線	71,935	57,107	81,722	57,200	142.9%
年間利用者数 秋月線	43,321	38,247	48,288	38,300	126.1%
年間利用者数 三輪線	38,339	34,911	37,203	35,000	106.3%
年間利用者数 甘木市街地循環線	13,721	13,889	14,170	13,900	101.9%
年間利用者数 小石原線・宝珠山線	16,539	14,128	10,241	14,200	72.1%
1台あたりの利用者数（田主丸線、秋月線、甘木市街地循環線）	56	48	61	50	122.6%

③コミュニティバスの維持及び制度の確立

令和元年度（平成31年度）の年間利用者数は平成28年度に比べ27.5%減少しています。特にあいのりタクシー黒川線、杷木東部線、あいのりスクールバスの減少が大きく、豪雨災害の影響によるものと考えられます。また、朝倉地域コミュニティバスやあいのりタクシー矢野竹線、長湫線も減少傾向にあります。

減少の要因として、前述の豪雨災害の影響に加え、あいのりタクシーの実利用者が減少傾向にあることや沿線人口の減少、高齢者の運転免許証保有率が高いことなどが考えられます。

＜コミュニティバス（あいのりタクシー含む）年間利用者延べ人数＞（単位：人）

指 標	状 況				目標値	達成率 ①/②
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 ①	令和元年度 ②	
年間利用者数（10路線合計）	32,457	28,947	24,682	23,527	32,500	72.4%
前年比	-	89.2%	85.3%	95.3%		
うち						
上秋月・安川線	2,188	2,153	2,164	1,950	2,200	88.6%
馬田線	459	536	537	720	500	144.0%
福城線	646	632	757	674	700	96.3%
長湫線	4,177	3,642	3,409	2,992	4,200	71.2%
矢野竹線	3,136	3,186	2,698	2,575	3,200	80.5%
美奈宜の杜線	4,386	4,091	3,937	4,190	4,400	95.2%
黒川線	5,198	3,758	1,330	1,149	5,200	22.1%
杷木東部線	1,274	1,124	803	640	1,300	49.2%
朝倉地域コミュニティバス	10,486	9,397	8,854	8,399	10,500	80.0%
あいのりスクールバス	507	428	193	238	510	46.7%
運行率50%を上回る路線数	4路線	2路線	2路線	2路線	6路線以上	33.3%

＜参考1 コミュニティバス（あいのりタクシー含む）実利用者数＞（単位：人）

路 線 名	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
上秋月・安川線	77	93	119	123	92	108
馬田線	17	14	38	59	42	40
福城線	29	41	35	23	24	18
長湫線	274	311	360	270	227	207
矢野竹線	220	246	219	179	194	163
美奈宜の杜線	374	399	398	345	343	280
黒川線	138	118		117	77	40
杷木東部線	52	56	52	50	43	22
朝倉地域コミュニティバス	-	-	-	-	-	-
あいのりスクールバス	34	38	29	20	13	10
合計	1215	1316	1250	1186	1055	888

<参考2 平成30年度における利用状況> (単位：人)

路線名	年間利用人数	実利用者数	実利用者数一人あたり	
			年間利用回数	月平均利用回数
上秋月・安川線	2,164	108	20.0	1.7
馬田線	537	40	13.4	1.1
福城線	757	18	42.1	3.5
長湊線	3,409	207	16.5	1.4
矢野竹線	2,698	163	16.6	1.4
美奈宜の杜線	3,937	280	14.1	1.2
黒川線	1,330	40	33.3	2.8
杷木東部線	803	22	36.5	3.0
朝倉地域コミュニティバス	-	-	-	-
あいのりスクールバス	193	10	19.3	1.6

<参考3 朝倉市における高齢者の免許保有状況(令和元年7月現在)> (単位：人)

市	女性			男性			合計		
	人口	免許保有者数	保有率	人口	免許保有者数	保有率	人口	免許保有者数	保有率
	28,014	17,803	63.6%	25,071	19,111	76.2%	53,085	36,914	69.5%
年齢別内訳									
70歳以上合計	8,066	3,104	38.5%	5,240	4,085	78.0%	13,306	7,189	54.0%
70~74	2,120	1,601	75.5%	1,940	1,809	93.2%	4,060	3,410	84.0%
75~79	1,800	923	51.3%	1,377	1,181	85.8%	3,177	2,104	66.2%
80~89	3,008	576	19.1%	1,598	1,042	65.2%	4,606	1,618	35.1%
90以上	1,138	4	0.4%	325	53	16.3%	1,463	57	3.9%

<参考4 朝倉市における高齢者運転免許証自主返納支援状況> (単位：人)

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
支援人数合計	66	81	104	128	162	157
うちコミュニティバス回数券	16	17	29	36	38	31
うち交通系ICカード(ニモカ)	50	62	75	92	124	126

④交通結節点での利便性向上(主要交通結節点での相互乗り入れ・路線バスなどとの接続向上(甘木鉄道甘木駅))

指 標	状 況			目標値	達成率 ①/②
	平成26年度	平成28年度	平成30年度 ①	令和元年度 ②	
バス停、バス停周辺の利便性への満足度	—	64%	64%	70.0%以上	91.4%
駅(甘木鉄道、西鉄甘木駅)、駅周辺の利便性への満足度	68%	66%	63%	70.0%以上	90.0%

(2) 誰もが利用しやすい、親しみが持てる公共交通の整備

①主要バス停待合施設の整備

指 標	状 況			目標値	達成率 ①/②
	平成26年度	平成28年度	平成30年度 ①	令和元年度 ②	
バス停、バス停周辺の利便性への満足度	—	64%	64%	70.0%以上	91.4%

②身近に感じる公共交通に向けて

指 標	状 況			目標値	達成率 ①/②
	平成26年度	平成28年度	平成30年度 ①	令和元年度 ②	
路線バス等の運行本数、ダイヤへの満足度	70%	69%	65%	75.0%以上	86.6%
バス停、バス停周辺の利便性への満足度	—	64%	64%	70.0%以上	91.4%
鉄道（甘木鉄道、西鉄甘木線）の運行本数、ダイヤへの満足度	77%	71%	69%	80.0%以上	86.2%
駅（甘木鉄道、西鉄甘木駅）、駅周辺の利便性への満足度	68%	66%	63%	70.0%以上	90.0%

3. 目標設定に関する考え方

令和4年度の数値目標については、基本的に発災前の平成28年度の利用水準を基本とし、災害復旧状況を鑑みて目標を設定します。

(1) 社会情勢及び実利用者増加に関すること

人口減少や少子高齢社会については総合的に取り組む課題であり、朝倉市総合戦略で示す定住・関係人口の増加を考慮しながら、沿線地域の人口構造や運転免許証保有率、実利用者数等を鑑みて、実利用者及び一人あたり利用回数の増加を目指して設定します。

(2) 災害復旧・復興に関すること

災害復旧は着実に前進していますが、被災地域の世帯や人口構成は大きく変化しています。このため、それぞれの地域の実情に応じた利用者の推測が必要です。道路の復旧や長期避難の状況を注視しながら、地区コミュニティ等と協議の上で利用者の増加を目指して設定します。

4. 目標設定案

(1) 持続可能な公共交通体系の確立（路線バス、コミュニティバスの利用促進）

① 幹線バス路線の確保・維持

令和元年度の便数に対して現状の便数維持を目標値とします。

指 標	状 況			目標値
	平成26年度	平成28年度	令和元年度	令和4年度
1日あたりの運行便数 (往復)	杷木 甘木	杷木 甘木	杷木 甘木	現状便数の維持
	平日 34.5便 74.0便	平日 34.5便 74.0便	平日 27.5便 79.0便	
	土曜日 27.0便 60.5便	土曜日 27.0便 60.5便	土曜日 23.0便 61.0便	
	日祝日 23.0便 56.5便	日祝日 23.0便 56.5便	日祝日 19.0便 49.0便	

② 地域バス路線の確保・維持

全体的に利用が増加傾向にあるため、平成30年度を基準として上方修正し、被災地域を運行する小石原・宝珠山線に関しては、復旧状況を考慮して下方修正します。

指 標	状 況			目標値	
	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和4年度
年間利用者数 (路線合計)	183,855	158,282	191,624	158,300	155,700
年間利用者数 田主丸線	71,935	57,107	81,722	57,200	82,000
年間利用者数 秋月線	43,321	38,247	48,288	38,300	49,000
年間利用者数 三輪線	38,339	34,911	37,203	35,000	—
年間利用者数 甘木市街地循環線	13,721	13,889	14,170	13,900	14,200
年間利用者数 小石原線・宝珠山線	16,539	14,128	10,241	14,200	10,500
1台あたりの利用者数 (田主丸線、秋月線、甘木市街地循環線)	56	48	61	50	60

③コミュニティバスの維持及び制度の確立

減少している実利用者の増加を目指して目標値を設定します。また、被災地域については、発災前の水準への回復を

路線名	平成28年度状況		目標値			
	実利用者数	一人あたり 月間利用回数	実利用者数 ①	一人あたり 月間利用回数 ②	4年度 ①×②×12 10人単位で四捨五入	令和元年度
上秋月・安川線	108	1.7	110	2.0	2,600	2,200
馬田線	40	1.1	50	1.0	600	500
福城線	18	3.5	25	3.5	1,100	700
長湊線	207	1.4	230	1.4	3,900	4,200
矢野竹線	163	1.4	180	1.4	3,000	3,200
美奈宜の杜線	280	1.2	280	1.5	5,000	4,400
黒川線	40	2.8	50	3.0	1,800	5,200
杷木東部線	22	3.0	25	3.0	900	1,300
朝倉地域コミュニティバス	8,854	-	-	-	9,700	10,500
あいのりスクールバス	10	1.6	15	2.0	400	510
利用者数合計	1,030		-	-	29,000	32,710

※朝倉地域コミュニティバスの実利用者数については、年間利用者数を掲載しています。

＜路線ごとの目標＞

- 上秋月・安川線…利用率が増加傾向にあるため、更なる増加を目指します。
- 馬田線…利用率が増加傾向にあるため、更なる増加を目指します。
- 福城線…利用率が増加傾向にあるため、更なる増加を目指します。
- 長湊線…利用率が減少傾向にありますが、令和2年度からのコース変更等により、新規利用者の増加を目指します。
- 矢野竹線…利用率が減少傾向にありますが、令和2年度からのコース変更等により、新規利用者の増加を目指します。
- 美奈宜の杜線…利用率が増加傾向にあるため、更なる増加を目指します。
- 黒川線…甘木吉井線の復旧等を考慮して災害前の水準への回復を目指します。
- 杷木東部線…災害復旧・復興状況を注視しながら、新規利用者の増加を目指します。
- 朝倉地域コミュニティバス…利用の約4割を占めるデイサービス利用者の増加や、一般の新規利用者の増加を目指します。
- あいのりスクールバス…災害復旧・復興による利用者の増加を目指します。

④交通結節点での利便性向上（主要交通結節点での相互乗り入れ・路線バスなどとの接続向上（甘木鉄道甘木駅））

指 標	状 況			目標値	
	平成26年度	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和4年度
バス停、バス停周辺の利便性への満足度	—	64%	64%	70.0%以上	70.0%以上
駅（甘木鉄道、西鉄甘木駅）、駅周辺の利便性への満足度	68%	66%	63%	70.0%以上	70.0%以上

(2) 誰もが利用しやすい、親しみが持てる公共交通の整備（利用満足度）

利用満足度については、令和元年度（平成31年度）目標を達成していないことから、令和4年度の目標設定も同様に設定します。

①主要バス停待合施設の整備

指 標	状 況			目標値	
	平成26年度	平成28年度	平成30年度	平成31年度	令和4年度
バス停、バス停周辺の利便性への満足度	—	64%	64%	70.0%以上	70.0%以上

②身近に感じる公共交通に向けて

指 標	状 況			目標値	
	平成26年度	平成28年度	平成30年度	平成31年度	令和4年度
路線バス等の運行本数、ダイヤへの満足度	70%	69%	65%	75.0%以上	75.0%以上
バス停、バス停周辺の利便性への満足度	—	64%	64%	70.0%以上	70.0%以上
鉄道（甘木鉄道、西鉄甘木線）の運行本数、ダイヤへの満足度	77%	71%	69%	80.0%以上	80.0%以上
駅（甘木鉄道、西鉄甘木駅）、駅周辺の利便性への満足度	68%	66%	63%	70.0%以上	70.0%以上